

# みんなの窓

## 「ちがいのちがい」～違いが分かる人に～

私たちの身の回りには様々な「ちがい」があります。しかし、その「ちがい」にも「ちがい」があるということなのですが…

次のちがいを、「あっていいちがい」と「あってはいけないちがい」に分類してみましょう。

- ① アメリカ人のジョンは肌の色が黒いが、トムは白い。
- ② 丸井さんはニンジンが嫌いだが、角田さんはなんでも食べる。
- ③ 東さんは中学校卒業後働いているが、西さんは高校へ進学した。
- ④ 卓球部では上級生は掃除をしないが、下級生は掃除をしなければならない。
- ⑤ 南さんはどこへでも旅行できるが、車いすに乗っている北さんはひとりで電車に乗ることができない。
- ⑥ 日本では食事のときに箸を使うが、インドでは指を使う。
- ⑦ 10歳の阿部さんは毎日小学校へ通っているが、同じ歳のガーナのジョナさんは毎日カカオの農場で働いている。
- ⑧ 親は妹には食事の後かたづけを言いつけるが、兄には何も言わない。
- ⑨ マラソン大会で男子は10km走り、女子は8km走る。

この分類の答えは一つではありません。おそらく、人によって、時代によって、また同じ人でも経験や学習によって違ってきます。また、どちらに分類するか悩んでしまったり、個別のケースによって分類が変わるものもあるでしょう。

そこで、家族や身近な人と意見を交わしてみましょう。自分では当たり前と思っているちがいで、意外に新しい発見があるかもしれません。

このような視点で、毎日の生活を見直してみましょう。今まで当たり前と思っていたことでも、身近なところに「あってはいけないちがい」が潜んでいるかもしれません。そして、それが「あってはいけないちがい」だと感じたら、「それはおかしい」と声を出してみましょう。違いが分かる人になりたいものですね。

「あっていいちがい」は、「好み」「個性」「身体的特徴」「文化」などのちがいで、「あってはいけないちがい」は、「人種」「性別」「職業」「生まれ」などによる不平等(差別)につながるちがいだと考えますが、みなさんはどう考えられますか。

参考:大阪府同和教育研究協議会編「わたし出合い発見」

問い合わせ 人権推進課 ☎ 65-0693 📠 63-4582

## 鳥獣害対策ニュース No.25

今回はニホンザル接近情報についてお知らせします。

### ニホンザルの情報をメールで発信

市内にはニホンザルの群れが14あると推測されており、集落付近を行動域とする群れについては、農作物等に被害を与えることも少なくありません。

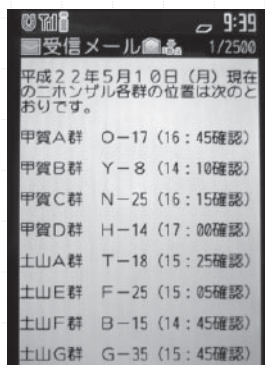
このため市では、群れに属するニホンザルに発信機を取り付け、市民の皆さんが追い払い等の防除活動に役立てていただけるよう、群れの位置情報を電子メールにて提供しています。

市内には、このニホンザル接近情報を利用して、集落ぐるみで防除活動に取り組んでいる集落もあります。

ニホンザル接近情報の配信を希望される方は、[koka273000@city.koka.lg.jp](mailto:koka273000@city.koka.lg.jp)まで氏名、区名を明記し、「サル接近情報配信希望」と入力の上、メールにてお申し込みください。接近情報の他、防除対策に役立つ情報も提供しています。

### 情報提供を行う群れと概ねの行動域

- 甲賀A群** 水口町和野、蟻峨、甲賀町岩室、小佐治、神保、高野、相模、鳥居野、大原中、大久保、大原上田、神
- 甲賀B群** 甲賀町高嶺、和田、毛枚、滝、甲南町池田、下野川、上野川、下馬杉、上馬杉
- 甲賀C群** 土山町黒川、山中、猪鼻、南山、大澤、甲賀町神、岩室
- 甲賀D群** 水口町和野、蟻峨、甲賀町隠岐、甲南町稗谷
- 土山A群** 土山町大河原、鮎河
- 土山E群** 土山町平子、野上野、東瀬音、西瀬音、青土、北土山
- 土山F群** 土山町野上野、西瀬音、頓宮、大野
- 土山G群** 土山町鮎河、黒滝、黒川



▲携帯電話での受信画面

問い合わせ 農業振興課 鳥獣害対策係 ☎ 65-0734 📠 63-4592